

平成29年9月29日

報道資料

奈良県立医科大学 MBT（医学を基礎とするまちづくり）研究所
栃木県塩谷郡高根沢町
北関東総合警備保障株式会社

奈良県立医科大学 MBT（医学を基礎とするまちづくり）研究所は「安全の視点を加えた、健康づくりの仕組みの構築」に関する連携協定を栃木県高根沢町及び北関東総合警備保障(株)と締結します。

奈良県立医科大学 MBT（医学を基礎とするまちづくり）研究所（所長：細井 裕司）は、栃木県塩谷郡高根沢町（町長：加藤 公博）及び北関東総合警備保障(株)（代表取締役社長：青木 靖典）の取り組みに連携協力するため、「安全の視点を加えた、健康づくりの仕組みの構築」に関する連携協定を下記のとおり締結しますのでお知らせします。

本協定は、三者が緊密に連携し、「安全の視点を加えた、健康づくりの仕組みの構築」という理念のもと、双方のインフラ及びノウハウを出し合い、有効的な取組みを相互協力のもと実施していくことを目的としています。

記

1 開催日時

平成29年10月6日（金） 10時00分から

2 開催場所

高根沢町元気あつぷむら（栃木県塩谷郡高根沢町上柏崎588-1）

3 主な出席者

高根沢町長 加藤公博

北関東総合警備保障(株) 代表取締役社長 青木 靖典

奈良県立医科大学 MBT（医学を基礎とするまちづくり）研究所長 細井裕司

4 協定概要

別紙のとおり

【本件に関するお問い合わせ先】

■高根沢町

企画課 担当：加藤・檜山 TEL:028-675-8102

■北関東総合警備保障(株)

開発管理部 担当：小林・生井 TEL:028-639-0436

■奈良県立医科大学 MBT（医学を基礎とするまちづくり）研究所

担当：研究教授 梅田 TEL:0744-29-8958

次長（研究推進課長） 福益^{ふくます} TEL:0744-22-3051（内線 2555）

高根沢町は栃木県政記者クラブへ同時プレスリリース

別紙 協定概要

1 背景、理念及び目的

健康で、安全に、安心して暮らせる生活を実現するためには、「医療・予防」、「生活サポート」のみならず、「セキュリティ・保守」も含めた包括的な視点で取り組む必要があるとともに、取り組むにあたっては、行政だけではなく、民間や学術機関の持つ資源（インフラやノウハウ）を活用しながら、官民学連携のもと取り組んでいくことが求められている。

本学 MBT 研究所は、奈良県や^{かしはら}橿原市と相互に協力し、医大周辺の新しいまちづくりを進めているほか、一般社団法人 MBT コンソーシアム（注1）と連携し、民間企業の活力を導入しながら、新産業創出などに取り組んでいる。

本学 MBT 研究所と連携する民間企業の一つに、栃木県に本社を構える北関東総合警備保障（株）があり、見守りとセキュリティを組み合わせた新たなサービス等の開発に取り組んでいる。

今回の協定は、このような背景をふまえ、本学 MBT 研究所が、高根沢町及び北関東総合警備保障（株）と緊密に連携し、「安全の視点を加えた、健康づくりの仕組みの構築」という理念のもと、双方のノウハウ及びインフラをそれぞれ出し合い、有効的な取組みを相互協力のもと実施していくものである。

本協定では、「連携協定」という形で、本学 MBT 研究所と高根沢町及び北関東総合警備保障（株）が、協議できる体制を構築し、具体的な事業は、協定の枠組みの中で議論しながら詰めていくというやり方で推進していくものとする。

2. 理念、取組テーマ及び協定締結後に、事業化に向け検討・協議していく取組みのイメージ

①理念	安全の視点を加えた、健康づくりの仕組みの構築		
②取組テーマ	<p><テーマ1> 安全の視点 を加えた、IT を活用した保健指導</p>	<p><テーマ2> 無関心層への訴求 を目的とした、IT を活用した保健指導</p>	
③協定締結後に、事業化に向け検討・協議していく取組みのイメージ	<p>■独居高齢者の見守り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「独居の方に、なるべく外に（居場所）に出て来てもらう。」「居場所に集まってもらい、事業者や地域の方がみんなで協力し合いながら、見守っていく。」という方向で取り組んでいくもの。 ・まずは社会実験的に、モデル事業として取組みを実施する方向で、今後協議・検討していこうとするもの。 	<p>■生活習慣病予防セルフチェック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「IT を活用した保健指導システム」が、無関心層に訴求し、浸透する「きっかけ」として活用できるかどうかを、本協定の中で模索していくもの。 ・セルフチェックが浸透することが、健康管理の意識づけへとつながり、結果として健診受診へとフィードバックされる可能性も検証していこうとするもの。 	<p>■健康体操及びウォーキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「IT を活用した保健指導システム」を、健康づくりの取組み（健康体操及びウォーキング）の成果を「可視化」する「仕組み」として活用できるかどうかを、本協定の中で模索していくもの。

（注1）一般社団法人MBTコンソーシアムとは・・・

所在地：奈良県橿原市、理事長：細井裕司。幹事社：富士通（株）、関西電力（株）、凸版印刷（株）、（株）健康都市デザイン研究所、パシフィックコンサルタンツ（株）、南都銀行。会員：県内企業等約90社。

医学を用いて多様な新産業創生、地方創生、少子高齢社会のまちづくりを行うMBT（Medicine-Based Town、医学を基礎とするまちづくり）の考えを実現するため、2016年4月、奈良県立医科大学が中心となって設立した一般社団法人。

部会を立ち上げ、そのプロジェクトの主となる企業と医学的知識・アイデアを提供するアドバイザー（医師・研究者）を核としたグループを作りそれぞれのプロジェクトを推進。

連携対象とする業種は医療産業に限らず、全業種。介護・見守り・生活支援・製薬・食品・交通・エネルギー・電機・印刷・建築・住居・運輸・通信・金融など、すべての異業種と連携。